

ミニバス拡充、学校エアコン設置へ3議席確保を 愛知・知立市議選 井上、本村氏ら応援

29日、投票される愛知県知立市に訴えています。

議選で日本共産党は現有3議席の確保を目指し、佐藤おさむ（現）、寺部誠二郎、牛野北斗（以上新）の3氏が猛暑の中、奮闘。全区区での学童保育や中学卒業までの医療費無料化、ミニバスなど市民と共に実現してき

22日の告示日は井上さとし参院議員、26日は本村伸子衆院議員が駆けつけ、市民要求実現とともに安倍暴走政治に知立市民の「不信任」の声を突きつけようと呼びかけました。

た議員団の実績を訴え、ミニバスの拡充や介護サービスの充実とともに、現在ゼロの学校へのエアコン設置について、子どもの命と健康かかった最優先課題として実現をと元気

3候補は早急に学校にエアコンを設置するよう、市民から寄せられた1150人分の署名を添えて市長に要請しました。他候補もこの問題に触れるなど影響が広がっています。



佐藤おさむ



寺部誠二郎



牛野北斗

◆学校のエアコン設置について、8月に国へ要請（予定）
愛知県委員会、同県議団◆

知立市議選

井上議員、最終日28日も応援に。
10時 桐山公園
10時30分 アオキスパー
11時 ピアゴ

野党共闘語る 井上議員 伊勢市

井上さとし参院議員は22日、三重県伊勢市の演説会で訴えました。会場には110人が参加。井上氏は、国会のリアルな話、特に野党共闘が進んでいる様子と、その中で党が果たしている役割を語り、党への支持を訴えました。また、井上氏が、核兵器禁止条約が採択された国連会議に参加し、歴史が動いた瞬間に立ち会ったと語ったところは、参加者から、感動が伝わってきたと感想がありました。

豪雨の被災者・自治体支援を

岐阜県委が政府交渉 本村、たけだ氏ら同席



国に要望書を出す高木候補（左から4人目）と左からたけだ、本村、2人置いて、野田、猿渡、上嶋、伊島の各氏

党岐阜県委員会は19日、先日の豪雨によって、甚大な被害があった県内の被災者、被災自治体支援のための緊急要請を政府に行いました。

高木光弘参院選挙区候補、伊島明博飛騨地区委員長、上嶋希代子高山市議、猿渡直樹関市議、野田勝彦郡上市議が参加しました。本村伸子衆院議員とたけだ良介参院議員、井上さとし参院議員

秘書も同席しました。県委員会と本村氏らが12、13日に行った現地調査を踏まえ、被災者生活再建支援法の適用の拡大など13項目を要請しました。

被災者生活再建支援法の適用が関市だけにとどまっている問題については、内閣府から、現在、被害状況の調査を行っており、これから拡大の可能性はあるとの回答がありました。

家屋被害認定で、半壊、一部損壊となった場合でも、臭いなどで住み続けることができず、解体せざるを得ない場合は、支援金が支給されるとの回答がありました。

膨大な量の土砂を洗い流すためには大量の水道水を使わざるを得ません。自治体によっては、復旧のために上下水道を使用する際に減免制度を設けているこ

20日、オスプレイ監視行動をする島津幸広前議員（中央）、高木理文御殿場市議（右）右上はヘリ



とも紹介し、国の財政支援を強く要望しました。総務省担当者は、「一般会計からの支出に対する財政支援はしていない」と答弁する一方で、災害による新たな支出増への措置については今後とも検討していくと答えました。観光の振興策について観光庁は、「旅行予約サイトや観光関係団体などとも協力して検討し支援をしていく」と答えました。